

平成16年6月

お客様各位

株式会社 陽進堂

## 使用上の注意事項改訂のお知らせ

### 子宮収縮止血剤

日本薬局方

## マレイン酸メチルエルゴメトリン錠

製品名：マレイン酸メチルエルゴメトリン錠「ヨウシン」

今般、自主改訂により、下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたのでお知らせ申し上げます。  
(下線部が変更箇所です。)

今後のご使用に関しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 改 訂 内 容

【禁忌】の項の(6)を

(6) 5-HT<sub>1B/1D</sub>受容体作動薬(スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン)、エルゴタミン、ジヒドロエルゴタミン、アタザナビルを投与中の患者(「相互作用」の項参照)

と変更する。

【相互作用】の【併用禁忌】の項を

(1) 併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体作動薬 スマトリプタン(イミグラン) ゾルミトリプタン(ゾーミック) エレトリプタン(レルパックス) リザトリプタン(マクサルト) <u>エルゴタミン(カフェルゴット等)</u> <u>ジヒドロエルゴタミン(ジヒデルゴット等)</u>	血圧上昇又は血管攣縮が増強されるおそれがある。 <u>なお、5-HT<sub>1B/1D</sub>受容体作動薬と本剤を前後して投与する場合は24時間以上の間隔をあけて投与すること。</u>	これらの薬剤との薬理的相加作用により、相互に作用(血管収縮作用)を増強させる。
<u>アタザナビル(レイアタツ)</u>	<u>血管攣縮等の重篤な副作用が起こる可能性がある。</u>	本剤での報告はないが、他の麦角アルカロイド製剤でCYP3A4の競合阻害により、 <u>血中濃度が上昇するとの報告がある。</u>

と変更する。

【相互作用】の【併用注意】の項を新たに設け

(2) 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
<u>プロモクリプチン</u>	<u>血圧上昇、頭痛、痙攣等があらわれるおそれがある。</u>	機序は明確ではないが、相互に血管収縮作用、 <u>血圧上昇作用を増強すると考えられる。</u>

と追記する。

なお、他の項は、現行のとおりとする。

#### 〈参考〉

企業報告

DSU No. 130 (2004年7月) 掲載予定

以 上